

に「何必昏於作勞、邪羸優而足恃。注、綜曰、邪、偽也。言何必當勉力依勤勞之事乎。欺偽之利、自饒是恃也」の一文が見える。「羸」の字を、尊経閣文庫本を始め、多くの写本では「羸」の字として
いるが、「羸」の字意は「やせる。疲れる。苦しむ」で、ここでは、句内容から考えて採らず、刊本
等にある「羸」の字を採った。

○布 …しく布。麻・苧(からむし)・葛などの繊維で織った布。この時代まだ木綿布はなかった。↓補説②

補説①

○69句目「土風須漸漬」について

白居易も「東南行一百韻」のなかでつぎのような類似した表現をしている。

漸覚郷原異

深知土產殊

夷言語嘲哂

蠻態笑睢盱

水市通閩閩

煙村混舳艫

吏徵魚戸税

人納火田租



補説②